

令和２年国勢調査の概要

（１）調査の沿革

国勢調査は我が国の人口の状況を明らかにするため、大正９年以来ほぼ５年ごとに行われており、令和２年国勢調査はその２１回目にあたる。

なお、国勢調査は大正９年を初めとする１０年ごとの大規模調査と、その中間年の簡易調査に大別され、今回の令和２年調査は大規模調査である。

（２）調査の時期

令和２年１０月１日午前零時現在によって行われた。

（３）調査の対象

調査時において、本邦内に常住している者について行った。ここで、「常住している者」とは、当該住居に３か月以上にわたって住んでいるか、または住むことになっている者をいい、３か月以上にわたって住んでいる住居または住むことになっている住居のない者は、調査時現在居た場所に「常住している者」とみなした。

（４）調査事項

<世帯員に関する事項>

- ①氏名
- ②男女の別
- ③出生の年月
- ④世帯主との続き柄
- ⑤配偶の関係
- ⑥国籍
- ⑦現在の住居における居住期間
- ⑧５年前の住居の所在地
- ⑨在学、卒業等教育の状況
- ⑩就業状態
- ⑪所属の事業所の名称及び事業の種類
- ⑫仕事の種類
- ⑬従業上の地位
- ⑭従業地又は通学地
- ⑮従業地又は通学地までの利用交通手段

<世帯に関する事項>

- ①世帯の種類
- ②世帯員の数
- ③住居の種類
- ④住宅の建て方

(5) 調査の方法

総務省統計局－北海道－釧路市－国勢調査指導員－国勢調査員の流れにより
行い、総務大臣により任命された約1,000人の国勢調査員がインターネット
回答利用ガイド、調査票（紙）などの調査書類を世帯ごとに配布し、調査の
回答は、インターネット、郵送、調査員等への提出の3つの方法とした。